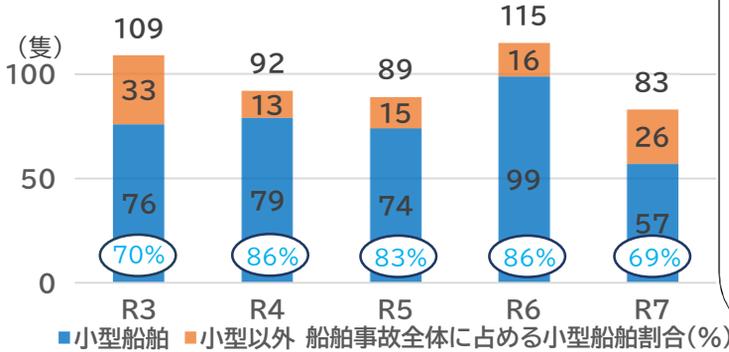




## 後悔する前に… 航海する前に発航前検査！

船舶事故発生状況・過去5年間推移



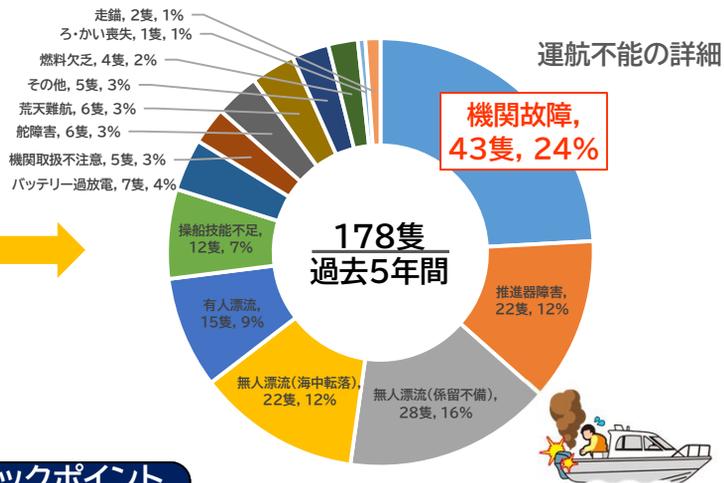
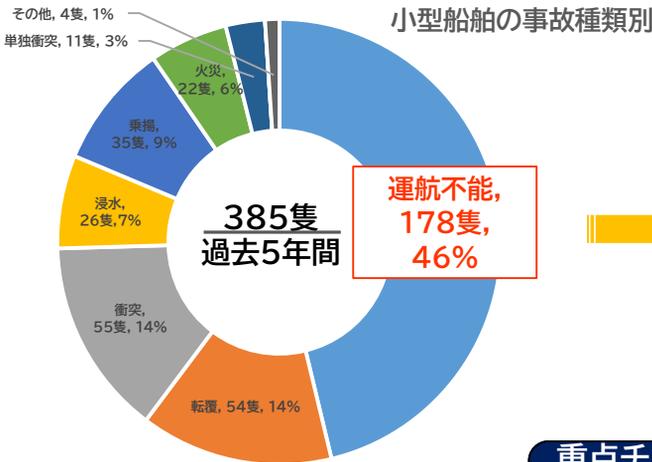
令和7年には、83隻の船舶事故が発生し、そのうち69%が小型船舶による事故でした。

過去5年間の統計においても、小型船舶の占める割合が多くなっています。

小型船舶の事故種類別では、「運航不能」が最も多く、その中でも「**機関故障**」が最も多いです。

機関故障により航行が出来なくなると、風浪や潮流に流され磯場へ乗上げるなど、人命に関わる大きな事故に繋がるおそれがあります。

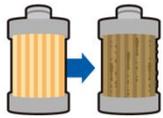
機関故障に陥らないように、**発航前検査を確実に実施**するとともに、**整備事業者等による定期的な点検整備**を行うようにしましょう。



### 重点チェックポイント

#### 燃料系

油水分離器にたまった水や、燃料フィルタの目詰まりに注意しましょう。



機関の回転不良等があると、燃料フィルタが詰まっている可能性があるため、必要に応じ整備・交換しましょう

燃料の残量を確認しましょう。



日頃の燃料消費率、給油量をしっかり把握しましょう。

#### 冷却水系

海水ポンプインペラの損傷に注意しましょう

オーバーヒートにも繋がるので、海水ポンプインペラは定期的に交換しましょう。



#### 電気系

バッテリーの電圧、液量を点検しましょう。



バッテリーは定期的に変換しましょう。

バッテリーターミナルの接続状況を確認しましょう。



端子の焼損



配線被膜劣化

二管区  
公 式 X  
発 航 前 検 査



発航前検査  
チェックリスト

発航前検査は  
船長の義務です



安全にボートを運航する上で、**メンテナンスは必須**です。  
**発航前検査を徹底**するとともに、**整備事業者等による定期的な点検整備**をお願いします。



# 発航前検査チェックリスト

発航前検査は、船長の義務です。

平成28年7月1日より、発航前の検査義務違反は行政処分の対象となります。



## エンジン始動前の検査

### 船体の検査

- 船体に亀裂や破口はないですか。
- エンジンルームや船底のビルジ（汚水）の量は普段より多くないですか。



### エンジンの検査

- 航海計画に見合った燃料は十分にありますか。
- 燃料コック（バルブ）は開いていますか。  
燃料フィルターやセジメンター（油水分離器）にゴミや水分の混入はないですか。
- エンジンオイル（潤滑油）の量は十分ですか。
- 冷却清水の量は十分ですか。
- バッテリーの液量は十分ですか。また、ターミナルは十分締め付けられていますか。



### 救命設備等その他の検査

- ライフジャケットを着用しましたか。
- 通信手段の充電量、予備バッテリーを確認しましたか。
- 気象・海象情報、水路情報は確認しましたか。



## エンジン始動後の検査

### エンジンの状態確認

- 回転計、冷却水温度計、油圧計、電流計または電圧計は正常値を指していますか。
- 冷却用の海水は通常どおりの量及び勢いで排出されていますか。
- エンジンから異常な音や臭いは出ていませんか。



© 2014 JMRA/KAZI

## 小型船舶の安全運航のために

### ●海の安全情報

海の安全情報 海保

検索

### ●発航前検査の詳細情報

メンテナンスガイド JCI

検索

### ●緊急時のトラブルシューティング

緊急時のトラブルシューティング

検索

### ●もしもに備えて保険加入

○事故（遊泳者との接触、衝突など）を起こした場合、多額の補償責任が生じます。

保険加入の窓口 ボート販売店・マリーナなど